

# 長野市役所における 「エコ通勤優良事業所」の認証取得について

総務部 職員課

都市整備部 交通政策課

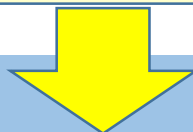
# 1 認証取得の目的

## (1) 交通渋滞緩和、地球温暖化防止対策

交通渋滞の緩和や地球温暖化防止などの観点から、マイカーによる通勤手段を電車やバス、自転車、徒歩などに転換する「エコ通勤」運動に事業所として積極的に参画する。

## (2) バスロケーションシステム導入に伴うバス利用促進

平成31年4月17日に「バスロケーションシステム」が運用開始されたことにより、バス交通の利便性が向上する中、公共交通を維持していくためにも、市職員が率先してバスを利用した「エコ通勤」への転換に取り組む必要がある。



以上の点を踏まえ、

**エコ通勤の普及を市内企業等に働きかけていくに当たり、**  
長野市役所としても「エコ通勤優良事業所」の認証を取得

## 2 長野市役所における公共交通機関等への転換に向けた目標設定

### (1) 四輪車で通勤している職員数（H30年度）

勤務先	正規職員	非常勤職員	合計(人)
本庁	215	150	365
本庁以外の施設(支所等)	901	921	1,822
合計	1,116	1,071	2,187

本庁に四輪車で通勤している正規職員を対象に通勤方法に関するアンケートを実施（H31.2）

### (2) アンケート結果 回答者 197人（長期休職者等を除く）

四輪車通勤の理由(複数回答あり 262人)		
子供の送迎のため	84人	32.1%
家族の介護のため	23人	8.8%
公共交通機関の便が悪いため	81人	30.9%
その他	74人	28.2%

エコ通勤への切り替えの可否		
可能	36人	18.3%
不可能	152人	77.2%

未回答  
9人4.5%



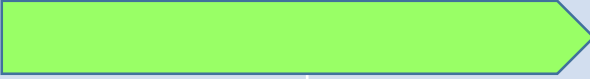
切り替えが不可能な職員152人のうち、子供の送迎、家族の介護を除いた約60%の1/2に当たる45人を可能者に加算した場合の切り替え可能率41%。

**【目標】 H32年度（2020年度）までに四輪車通勤の職員の50%を公共交通機関等の通勤に切り替える。**

- ※ 比較的公共交通機関の利用が可能な
- ※ 認証取得条件：2年間の取組を提示

本庁へ勤務している職員を対象とする。

### 3 目標達成のための具体的な取組

現状・課題	取組	H31年度	H32(2020)年度
・時間外勤務が常態化し、公共交通機関の運行時間内に帰宅できない。	働き方改革による取組	◆時間外勤務の縮減	
・出退勤時間に利用しやすい便がない。 ・満員電車・バスを利用したくない。		◆時差出勤制度の導入の検討	
通勤手段として、バス路線等が認知されていない。	◆職員への公共交通に関する情報提供(新たに導入されたバスロケーションシステムやバス路線、時刻表等)		

#### 【認証取得のスケジュール】

- 5月上旬 ・エコ通勤認証取得の申請  
下旬 ・エコ通勤認証取得

- 6月以降 交通政策課による  
・エコ通勤の普及・促進(企業への働きかけ)  
・市民等への啓発(広報紙への掲載等)